

アカバネ病の生後感染に注意！！

家畜生産農場清浄化支援事業でワクチン接種を！！

(社)岡山県畜産協会家畜衛生部

1. 岡山県でアカバネ病の生後感染を疑う事例が発生

本年9月末、岡山県内でアカバネ病の生後感染を疑う事例が発生しました。

発生があった場合は畜産経営に大きなダメージを与える本病は、これまで九州地方では発生がみられており中国地方での発生が危惧されておりました。10月中旬までに県内では2例（津山地区、真庭地区）の発生があり、生後の後駆麻痺を呈するもので今後の続発が心配されるところです。

生産農家の方はもとより畜産に関係しておられる方々みなで注意し、疑わしい事例を見つけたら直ちに家畜保健衛生所に連絡しましょう。正しくて早い情報が的確な判断と対策につながります。

2. 発生と被害を防ぐためには

アカバネ病の発生を防ぐ手段、また万一発生した場合でもその被害を最小限に抑える方法はワクチン接種以外にはありません。胎内感染や生後感染の減少につながる母牛へのワクチン接種をお勧めします。

ワクチンの種類、実施方法につきましては本協会及び支部、家畜保健衛生所、共済連家畜診療所、かかりつけの獣医師にご相談下さい。

また、ワクチンに加えて、ウイルスの媒介遮断につながる蚊の発生防止や畜舎消毒などはさらに効果を高めます。

3. 生産農場清浄化支援対策事業のワクチン事業の活用を！！

本協会では、アカバネ病（牛異常産）、チュウザン病、アイノウイルス感染症の単味、混合ワクチン、牛IBR、牛下痢症、

豚異常産などのワクチン接種の他、ヨーネ病やオーエスキー病の自主検査及び自主淘汰などを内容とする「家畜生産農場清浄化支援事業」に取り組んでいます。農場を清浄化して家畜の損耗を防ぎ、農家経営の安定と地域畜産の健全な発展を目的としており、(社)全国家畜畜産物衛生指導協会からの委託による補助事業であります。ヨーネ病対策については積極的な取り組みがみられるものの、近年ではワクチン事業が伸び悩んでおります。生産資材の高騰など様々な要因をはらんでおりますが、これらの疾病の発生は甚大な被害につながりますので、ウイルスの浸潤情報などから目を離さないで適切なワクチン接種に努めましょう。

4. アカバネ病抗体陽転状況

県内のアカバネ病抗体陽転状況については下表のとおりで、生後感染や、異常産による分娩事故の発生が危惧される状況が続いております。

表. 平成20年県内統一抗体調査アカバネ病抗体陽転状況（8月分血清）

| 家保管内 | 陽転状況 | | 備考 |
|------|------------|------------|----|
| | 頭数 (%) | 農場数 (%) | |
| 岡山 | 6/12(50%) | 2/4(50%) | |
| 井笠 | 4/12(33%) | 2/4(50%) | |
| 高梁 | 0/12(0%) | 0/4(0%) | |
| 真庭 | 3/12(25%) | 3/4(75%) | |
| 津山 | 8/12(67%) | 4/4(100%) | |
| 県計 | 21/60(35%) | 11/20(55%) | |

(岡山県畜産課)